

## 国民スポーツ大会招致要望書

国民スポーツ（体育）大会は、昭和二十一年の第一回大会以来、わが国最大のスポーツの祭典として、広く国民にスポーツを普及し、体力の向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与してきました。山梨県では昭和六十一年に第四十一回国民体育大会（かいじ国体）が開催され、選手・指導者の養成や施設の整備が飛躍的に進み、県内各地においてスポーツに親しむ土壌が培われ、今日の本県スポーツ振興の礎となっています。

一方で、新型コロナウイルスの影響は大きく、スポーツ界においては東京オリンピック・パラリンピックの延期、国民体育大会においても鹿児島県大会の延期や、三重県大会が中止に追い込まれました。そのような厳しい状況下においても、山梨県スポーツ界は躍進し、個人種目にとどまらず、サッカー、バレーボール、野球において全国優勝を成し遂げたことは記憶に新しいところです。困難な状況下においても努力と創意工夫を積み重ね、目標を達成していくその姿はスポーツの有り様 そのものであり、先の見えないコロナ禍において、県民に勇気と感動をもたらしました。

総合優勝を飾った「かいじ国体」から三十七年が経過し、二巡目となる国民スポーツ大会には、スポーツの持つあらゆる可能性を最大限に生かした本県の未来へ繋がる新たな大会像が求められています。本協会といたしましたは、国民スポーツ大会がスポーツ界のみならず、山梨県の更なる発展の絶好の機会となることを確信し、大会の招致を熱望するものでございます。

つきましては、ここに本協会加盟団体の同意書を添えて令和十四年の第十八回国民スポーツ大会の招致を要望いたしますので、格別の御高配を賜いますようお願い申し上げます。

公益財団法人山梨県スポーツ協会

会 長 高 野 剛

山梨県知事

長崎 幸太郎 殿

山梨県教育委員会教育長

降籬 友宏 殿

山梨県議会議長

水岸 富美男 殿